

日経産業新聞

2012年(平成24年)
6月21日
木曜日

NIKKEI BUSINESS DAILY

徘徊される高齢者をお知らせします

高齢者専用住宅・病院・ご自宅などに
TAKEXの徘徊お知らせシステム

竹中エンジニアリング株式会社
hc.takex-eng.co.jp/ 京都 ☎075(583)

電子版 <http://www.nikkei.com/> ■ 日経産業新聞online <http://www.nikkei.com/tech/ssbiz/> ■ 購読のお申し込み ☎0120-21-4946 <http://www.nikkei4946.com>

ル、英蘭ロイヤル・グ
・シエルなどが研究開
相次いで参入してい
燃料を安定供給するた
薬類由来のバイオ燃料
培養技術確立と生産効
究するベンチャーとの
高い薬類の探索が、大
も活発化してきた。
業や大学による研究開
用化の課題はコスト。
テーマになっている。

家発電設備を持つ企業
た。7月に日本で再生
に追加を呼びかける。
能エネルギーの全量買
同社は6年前から韓国
取り制度が始まるのに
で藻由来のバイオ燃料
わけて、今年3月に西
研究開発を手掛けるト
氏がら出資して日本に
ンスアルジR&D(ソウ
社を移した。年内に第
ル市)が前身。昨年11
弾のプラントを完成さ
に実用化のメドをつけ
たい考えだ。

揮発有機物 燃やさず処理 印刷業に装置貸与 モリカワが新事業

環境装置のモリカワ
(東京・豊島、森川潔社
長)は2013年春から
中小の印刷業者向けに揮
発性有機化合物(VOC)
の処理装置の導入には200
0万円程度の投資が必
要。さらに、燃料代など
の運用費として、月額30

処理装置のレンタル事業
を始める。印刷工場では
VOC排出量が規制され
ているため、燃焼処理す
るのが一般的。設備や燃
料代の負担が重い。モリ
カワはレンタルした装置
からVOCを吸着した活
性炭を回収してまとめて
処理する仕組みを作り、
印刷業者の負担を3割以
上減らす。

HK放送技術研究所がハ
イビジョンに続く次世代
映像システム「スーパー
ハイビジョン」の研究開
発を進める。4Kも上回
る「8K」相当の超高精
細映像を映し出すテレビ
をシャープなどと共同で
研究中。世界に先駆けて
20年の試験放送開始を
目指す。

巨人たちの行脚

インターネット機能を
高めた「スマートテレビ」
の登場で、日韓勢に加え
次世代テレビ分野には米
国のハイテク大手も次々
参入する見通しだ。

を自社で製造する可能性
もあるという。
メディア行脚を進め
るのはインテルだけでは
ない。「テレビ参入」が
展開で交渉中とされる。
検索最大手の米グーグル
もソニーなどと組んでテ
レビ市場に参入。「グー
グルTV」の提携戦略を
担当するミッキー・キム
氏は「ウェブの新しいエ
ンターテインメントと技
術革新をテレビに届け
る」と語る。
パソコンやスマートフ
オン(高機能携帯電話)

化学の力で
未来を今日にする

ZEO
日本セオン株式会社

センサーで吸着性能を
常時監視し、性能が基準
を下回ると活性炭を回収
交換する。顧客から回
収した活性炭をまとめて
処理、料金を月額20万円
に抑えた。15年度に10億
円の売り上げを見込む。

万戸程度かかる。
モリカワは、中小の印
刷会社などで求められる
毎分50立方分の吸着性能
を持った処理装置を開
発、レンタルすることで
燃焼式を採用している企
業の置き換えを狙う。

日経電子版から

ネット各社の陣取り合戦白熱

日本のネット企業が資本提携や出資を軸にした成長戦略を加速しつつある。株式交換などを使いコングロマリット(複合企業体)を志向したかつての買収に対し、最近では「マスト・バイ(必ず買うべし)」案件に狙いを定め、手元資金でまかなう堅実派が主流となっている。

▶電子版テクノロジー→日経産業新聞onlineに全文掲載
(<http://www.nikkei.com/tech/ssbiz/>)

日経電子版 <http://www.nikkei.com/>
お問い合わせ(7:00~21:00) ☎0120-24-2146

20 日航再上場、にじむ稲盛哲学

日航の記者会見場に置かれ
た「787」の模型(2月)



INDEX

- 2 共同印刷、外箱不要の医薬容器
- 3 タッチパネル攻防
- 4 アマノ、小型タイムレコーダー
- 7 タムラ製作所、LED用絶縁材
- 12 ベネッセ、介護付きホーム拡大
- 14 ブリヂストン、再生品拡充
- 16 エス・バイ・エル、分譲参入
- 19 健康経営 センコー